

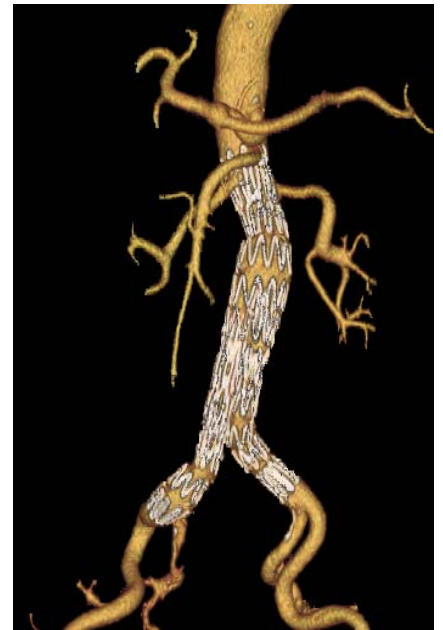
## 動脈瘤・ステントグラフト外来開設のお知らせ

腹部大動脈瘤の新しい治療法、ステントグラフト内挿術を、当科でも2011年より開始致しました。

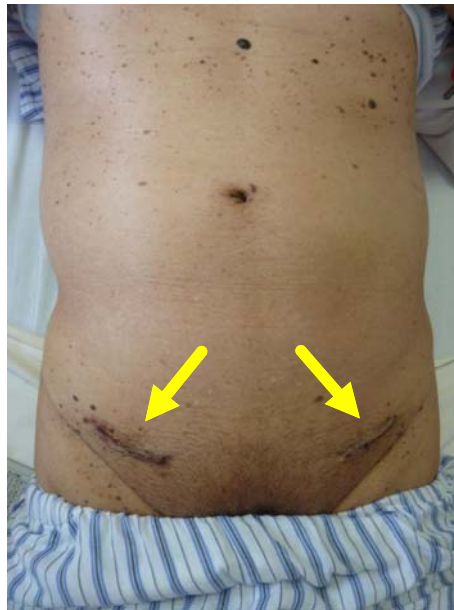
従来の開腹手術に比べて格段に低侵襲であり、高齢の患者さん(当科最高齢87歳)や、心機能・呼吸機能の悪い方、開腹歴のある方など、以前であれば手術治療を見送られていたハイリスクな症例に対しても、積極的に本治療を行っております。

この2年間で50例以上の手術を行い、手術死亡ゼロ、術後入院期間は1週間弱と、非常に良好な成績を修めております。

今回ステントグラフト専門外来を新設いたします。お気軽に御相談、御紹介頂ければ幸いです。



従来の開腹手術の創



ステントグラフトの創

当科では、日本のステントグラフト治療の第一人者 川口 聡先生(慶應義塾大学)、島崎太郎先生(東京医科大学)をスーパーバイザーとして、毎回手術に参加して頂き、非常に高い技術・水準での手術治療を行っております。

外来日: 毎週火曜日午後

担当: 宮島 敬介

平塚共済病院 心臓血管外科



写真左より  
島崎太郎先生、高橋政夫部長、川口 聡先生、  
石川智啓先生(小田原市立病院部長)、宮島敬介医長